巻頭言

三井住友建設技術開発センター報告第 12 号の発刊に当たり、ご挨拶申し上げます。

国内景気は、経済・金融政策の効果が発現していくなかで、消費税率引き上げ後の駆け込み需要の反動の影響も徐々に和らぎつつあり、企業の業況は幅広い業種において改善の動きがみられています。国内建設市場においては、2020 年東京オリンピック・パラリンピックを見据えたインフラ整備・補修など公共投資の増加や民間企業の設備投資が堅調に推移し、建設需要は順調に拡大していますが、建設技能労働者の需給の不均衡が常態化し、賃金・資材など建設コストの上昇と相まって、業界環境は引き続き難しい状況が続いています。

弊社におきましては、今年度は、持続的社会貢献を可能とする未来への投資として、長期的な時間軸で新たな事業領域への挑戦を織り込んだ「第 4 次中期経営計画 2013-2015」（平成 25 年 5 月制定）の 2 年目に入り、「新たな飛躍に向けた挑戦」をキーワードに活動を展開しております。

技術開発においては、本計画のもと、社会やお客様が求める品質・安全・快適・サステナビリティの実現に向け、引き続き「高品質化」「高機能化」に取り組むとともに、次世代をにらんだ中長期的な技術研究開発にも積極的に取り組んでいます。

当技術開発センターにおいても、『技術開発による新たな価値の創造』を目標に、次の 10 年に向けた新たな挑戦的な技術開発を着実に進めて、本計画の確実な実行と未来社会への貢献に尽力する所存です。

技術開発センター報告を多くの方々にご覧頂き、ご批評を賜れば幸いです。

2014 年 10 月

執行役員
技術研究開発本部長
西　村　憲　義